



No11. 2026. 1. 30

我が家の娘（6歳）は、夢が色々あり日々変わっているようです。「ダンスするひと」「アイス屋さん」「アイドル」etc…。うんうん、いいね。やりたいことが沢山あるって…と思いながら聞いています。

自分の夢を振り返ると…小学生の時は、友だちと順番に漫画を描く“交換漫画”が楽しくて、漫画家になりたかったこと。中学生の時は、看護師さんに憧れていたこと…。高校生になり、それまでどちらかといえば子どもは苦手だったけれど、ボランティアで保育園に行ったことがきっかけで、保育士になりたいという夢が見つかりました。具体的な理由があるわけではなく、子どもと一緒に過ごすうちに、「あれ？何だか、すごく楽しいかも…。保育士やりたい！」と、自分でも予想外の気持が沸き上がってきたのです。保育士のことを調べていく内に、養護施設のことを知り、家庭で暮らせない子どもたちの支援をしたいと思い施設に就職しました。保育士になり養護施設で働くという夢は叶ったけど、自分自身が子どもと関わる大人としてまだまだ未熟で、十分にやりきれなかったという思いが残っています。

結婚して長野に移住し、子どもと関わる仕事を続けたいと思い、公立の保育園で数年間働いていました。行事やカリキュラムが多く、子どもの思いや主体性よりもやらなければならないことをさせる風潮に、保育が楽しいと思えませんでした。そんな時ぴっぴのことを知り、「森のようちえんて、どんなところ？」「一日中、外で過ごすってどんな感じなんだろう？」

当時、1歳だった娘とくるみの日に参加しました。雪で白く染まり、「うさぎ野原のクリスマス」の歌声が響いていた12月のぴっぴの森。言葉で、上手く表現出来ないのですが…ぴっぴの森の心地よさ、自分が開放される感覚…もっとぴっぴのことを知りたい！という思いに突き動かされ、帰る間際「ぴっぴで、働かせて下さい！」と、まゆさんに伝えていました。

ぴっぴで、スタッフとして過ごす今。自分の直感を信じ、勇気を出して一步を踏み出すことができ、本当によかったと感じています。受け入れて頂いたまゆさん、スタッフの皆様にとっても感謝をしています。

ちいさかった子どもたちがぴっぴの森で、たくさん泣いて、笑って、気持ちを表現して受けとめてもらって、友だちともめごとともにたくさんして、話し合っ…その子らしく、どんどん逞しく成長していく姿を見守り、一緒に過ごせることが、とても楽しく幸せです。

これから子どもたちが、どんなふうに大きくなって、どんな夢を持つのだろう…と考えるとわくわくします。どの子も自分らしく、やりたいことや好きなことが見つかるといいな。ぴっぴで育った子どもたちは、色々なことがあっても、きっと大丈夫。そんな風に思えるのです。

これからも、自分の中で色々な夢を育てながら、楽しんでいきたいと思います。

：小井土 恵（マッキー）



# 庭の恵みを食べよう遊ぼう楽しむ♪2月

お正月にかかせない「マツ」 冬でも美しい緑の姿をたたえ、古くから神様の降り立つ木として、人々のくらしを支えてきました。2本1組の葉をもつマツを二葉松、5本の葉をもつ五葉松公などが  
あります。そして、マツといえば、『松ぼっくり』という『球果』が特徴ですね。今回はその  
松ぼっくりを使って、お家で楽しい、おいしい火熏製 Time  
をすごしてみませんか？ すぐにできるので、ぜひ。



リスは  
この中にある  
種をたべています♪  
赤木公ぼっくり

## 《木公ぼっくりの火熏製》

- ・木公ぼっくり数個
- ・ナッツ、ドライフルーツ、ちくわ、刺身 etc... を用意して

- ① 蓋付きのお鍋に食材を並べる
- ② トングで木公ぼっくりをつかみ  
火にやす。
- ③ ある程度燃えたら火を消し  
鍋に置いて蓋を開める。
- ④ 5分ほどで完成♪

※ 火事ややけどなどに気をつけて

※ 乾いた木公ぼっくりで灰が落ちてく

木公ぼっくりは油分(松脂)を多く含むので  
短時間で強かな火がでます。

(薪ストーブの焚き付けにもオススメ♪)

木公由来の爽やかでスパイシーな香りがつきます。

しょうゆ、塩、オリーブオイルなどの調味料もおすすめ♪



カママツ

※ このあたりに生えるマツは主にアカマツで、中間のカママツもあります(球果が少し小さい)  
海の近くには枝ぶりやマツかさの大きい、葉の固いクロマツが生える